



# 第92号

令和2年(2020年)

8月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

## 緊急事態宣言下での対応

自粛期間中に行政が取り組んだ支援 2～3p



第2回定例会 主な審議 4p

ここが聞きたい! 一般質問 5p

平成31年度 政務活動報告 6～8p

第2回臨時会・第3回臨時会・第2回定例会 賛否一覧 別刷り

古賀市議会



写真: 市民や医療従事者の笑顔を願い、古賀市観光協会が照らした古賀の夜空。

**商工政策課**

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大や、休業要請等の影響により、大幅に売り上げが減少した小規模事業者の事業継続のための支援金。

**1億35万2千円**

**経営戦略課**

テイクアウトを実施する飲食店の支援としてスマートフォンを利用して250円の割引チケットを発行。

**635万円**

**福祉課**

生活困窮者支援に関わる自立相談支援員の増員と住居確保給付金の申請増加による扶助費。

**1,734万8千円**

**問** 全ての市内小規模事業者が対象か。

**答** 条件を満たせば業種は限定せず、フリーランス等も対象。

**問** 支援金を受け取れる時期は。

**答** 申請後、おおむね1週間から2週間。

**問** 前年同月比で50%以上の減少とした理由は。

**答** 国の持続化給付金を参考。

**問** 見込み事業者数1000社の根拠は。

**答** 市内の小規模事業者数は1063。フリーランス、減少率も考え1000事業所と見込んだ。

**問** スマートフォンを使っていない人はチケットの発行はできないのか。

**答** 人同士の接触による感染リスクの回避として、電子チケットの手法を今回は選択した。

**問** 利用店舗が50店舗の見込みと、一律250円とした理由は。

**答** 市内全体で200超の事業所と認識。このうち4分の1程度が参加を希望していると想定。250円とした理由は、テイクアウトの実態として600円〜800円ぐらいの弁当が多いと捉え、適当な単価と考えた。

**問** 外国人も対象になるのか。

**答** 国籍による条項はない。

**問** 届出保育施設や幼稚園の利用自粛に伴う家庭保育協力補助金および施設の利用自粛に伴う保育料の返還金。

**3,462万円**

**問** 届出保育施設110人、幼稚園90人の見込みについて。

**答** 市が把握している届出保育施設に通う人数から推計。幼稚園は、令和2年3月の対象人数を基に推計。

**問** 生活困窮者支援に関わる自立相談支援員の増員と住居確保給付金の申請増加による扶助費。

**1,734万8千円**

**問** 具体的な申請の方法は。

**答** 該当者に申請書を送り、押印して返送。国の持続化給付金、県の支援金に該当する人は、その決定通知の写しなどの提出が必要。

**問** お金を配るだけではなく、フォローアップを行うことが行政の役目は。

**答** 支援金については緊急と考え予算を計上。フォローアップは商工会と共に相談体制を築いていきたい。

**問** 廃業や倒産の数の把握は。

**答** 個人事業者はそもそも開業届を出していない場合が多く、廃業者数の把握は難しい。

**問** 該当事業者数、対象件数の見込み理由は。

**答** 市内の中小法人、個人事業者数が2400事業者、そのうち売り上げが対前年度比50%以上減少の事業者を4割見込んでいる。30%以上50%未満を2割と想定したの、県の持続化緊急支援金対象者の算出割合が、50%以上が4割、30%以上50%未満は、2・8割となっていることを参考。

### 第2回臨時会 令和2年4月24日

第37号議案 令和2年度 古賀市一般会計補正予算  
歳入歳出それぞれ1億5,867万円を追加、補正後の予算は217億6,727万5千円

第38号議案 令和2年度 古賀市国民健康保険特別会計補正予算  
歳入歳出それぞれ100万円を追加、補正後の予算は61億456万5千円

第49号議案 令和2年度 古賀市一般会計補正予算  
歳入歳出それぞれ2億8,681万8千円を追加、補正後の予算は281億9,301万7千円

**予防健診課**

古賀市民5万9750人分の特別定額給付金や振込手数料、通信運搬費などの事務費。

**59億8,826万3千円**

**子育て支援課**

児童扶養手当受給世帯1世帯当たり5万円の緊急支援金と児童手当受給世帯の児童1人当たり1万円の臨時特別給付金および事務費。

**1億2,549万3千円**

**学校教育課**

中学3年生の家庭学習を支援するためタブレット端末等の備品購入費と、新規にインターネット環境を整備した就学援助受給世帯への補助。

**2,516万8千円**

### 第3回臨時会 令和2年5月14日

第39号議案 古賀市税条例の一部を改正する条例の制定（専決処分）  
新型コロナウイルス感染症等に係る手続等における徴収猶予の取消しについての規定を追加

第41号議案 令和2年度 古賀市一般会計補正予算  
歳入歳出それぞれ61億3,892万4千円を追加、補正後の予算は279億619万9千円

**問** オンライン申請の件数、郵送による申請の割合と、郵送の申請期間はいつまでか。

**答** オンライン申請は10%程度を想定しているが、実数の把握は難しいので郵送料として全世帯分を計上。申請期間は3カ月。

**問** 他自治体では第2、第3弾と支援策を講じている。さらなる経済対策はあるか。

**答** 5月中下旬、6月以降の再始動を応援する視点で策を講じる必要がある。

**問** 中小企業、小規模事業者を広く対象とした応援金を設定をしたい。

**答** 古賀市に在住する約9000人の外国人を含め基準日に住民基本台帳に記載された人で、オンラインで申請がなかった場合は個別に全員に通知文書を送付。

**問** 申請は不要となっているが、受付は5月15日以降、給付金支給開始時期は6月中旬となっている。

**答** 非常に遅いのではないかと5月15日から文書を送付。申請した人に給付するのではなく、拒否をする申請の仕組み。拒否の申し出を待つ期間を2週間としている関係で、6月にならないと支給の手続きができない。

**問** インターネット環境が整っていない家庭の把握は。

**答** 回線がない家庭の把握は、全学年のインターネット環境等の調査をしている。

**問** オンライン授業ができる体制整備は標準装備としてやるべき。今後はオンライン対応も可能とする使用の方にすべきでは。

**答** 公立の学校では学校に児童等が出てきて教師と対面をし、顔色や体調を見、ノートの書き方、進み具合を見ながら進めていく。多くの大学もオンライン授業を行っているが、基本的には講義室で話を聞き、ノートを取る、これが基本。

予防費  
2億9,706万1千円

売り上げが減少した中小法人、個人事業者を支援するための応援金。

**2億4,000万円**

問 具体的な申請の方法は。

答 該当者に申請書を送り、押印して返送。国の持続化給付金、県の支援金に該当する人は、その決定通知の写しなどの提出が必要。

問 お金を配るだけではなく、フォローアップを行うことが行政の役目は。

答 支援金については緊急と考え予算を計上。フォローアップは商工会と共に相談体制を築いていきたい。

問 廃業や倒産の数の把握は。

答 個人事業者はそもそも開業届を出していない場合が多く、廃業者数の把握は難しい。

問 該当事業者数、対象件数の見込み理由は。

答 市内の中小法人、個人事業者数が2400事業者、そのうち売り上げが対前年度比50%以上減少の事業者を4割見込んでいる。30%以上50%未満を2割と想定したの、県の持続化緊急支援金対象者の算出割合が、50%以上が4割、30%以上50%未満は、2・8割となっていることを参考。

問 創業者を支援するための応援金。

20人を見込んだ根拠、応援金20万円の理由は。

答 創業者は毎年10〜20件。20万円の根拠は、中小企業等応援金（20万円）を参考。

**400万円**

問 介護保険施設や障害者福祉施設、児童福祉施設などが行う、感染拡大防止の取り組みに対する支援金。

**1,250万円**

問 利用者の人数等を考慮しての配分か。

答 利用人数にかかわらず1法人一律10万円、実施するサービスが数種類あれば、2つ目から5万円ずつ加算。

**300万円**

問 自粛要請で利用が中止となったクロスバルこがの施設管理、再開準備などに係る費用の負担金。

**3,656万1千円**

### 第2回定例会 古賀市補正予算審査特別委員会 委員長：井之上 豊 令和2年6月15日

総務管理費	46万8千円減額 市長、副市長の給料を減額。
教育委員会事務局費	19万6千円減額 教育長の給料を減額。
国民健康保険費	473万6千円 交通事故の第三者行為損害賠償求償に係る事務費等。
健康対策費	1,431万5千円減額 クロスバルこがの指定管理料の確定。

※端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

# 古賀市勤労者研修センター廃止へ

古賀市勤労者研修センター設置条例を廃止する条例の制定

古賀市勤労者研修センターは、市内の事業所と地域社会の融和を図り、明るい職場作りと潤いのある環境確保をめざし、工場再配置の補助を受け昭和62年3月1日に設置された施設です。会議、学習、研修会など多目的に利用でき、地域住民との共用と勤労者の資質の向上に長年の間貢献してきました。

平成29年に作成された古賀市公共施設等総合管理計画で建物の性能・活用度がともに標準以下の施設と指摘されているように、建物の老朽化および利用の低迷等により、令和2年8月末で廃止されることとなりました。



食品加工団地内で長年企業を支え続けた古賀市勤労者研修センター



同センター内大会議室

付託▷ 

市民建産委員会	賛成	可決
---------	----	----

本会議  
賛成全員  
可決

主な  
審議

第2回  
定例会  
(6月8日~18日)

主な  
審議

## 災害時の弔慰金の支給が迅速に

古賀市災害弔慰金等支給審査委員会を設置することで、災害時の災害弔慰金および災害障害見舞金の支給に関する事項の調査審議が可能になり、今までより支給が迅速に行えます。

付託▷ 

文教厚生委員会	賛成	可決
---------	----	----

本会議  
賛成全員  
可決

## 感染症の影響による国民健康保険税の減免

世界的感染症の影響により被保険者の属する世帯の世帯主の収入の減少が見込まれ、その見込まれる減少額が一定要件に該当するときなどに国民健康保険税が減免されます。

付託▷ 

市民建産委員会	賛成	可決
---------	----	----

本会議  
賛成全員  
可決

## 古賀市議会の災害対応（新型コロナウイルス対策会議）

議会は、世界的感染症対策の最中に古賀市執行部との確実な意思疎通と必要な施策の実現のため3月2日に新型コロナウイルス対策会議を設置しました。同会議は7月7日現在までに合計21回開催し、世界的感染症対策について様々な議論が行われました。

古賀市職員は感染症対応のため連日激務が続いており、新たな施策も次々と行わなければならない状況でした。この状態の中で新たな施策実行

のため一刻も早い議案の可決と限られた職員数での施策の実行が求められます。

これらを総合的に判断し、議会会期の前倒しと、限られた職員の労力を感染症対応に充てるために一般質問を極力自粛するよう議長より要請されました。今議会での一般質問者が少ないのはそのためです。



## 令和2年 第2回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和2年4月24日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
34	専決処分（古賀市税条例等の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
35	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
36	古賀市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
37	令和2年度古賀市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
38	令和2年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順

## 令和2年 第3回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和2年5月14日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
39	専決処分（古賀市税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	専決処分（道路管理瑕疵に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	令和2年度古賀市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順

## 令和2年 第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和2年6月8日～18日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
42	古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	古賀市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	古賀市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	古賀市分担金等の延滞金徴収条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	古賀市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	古賀市勤労者研修センター設置条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和2年度古賀市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和2年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	訴えの提起	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順

# 地球温暖化と熱中症

## オンライン研修会を開催

6月18日、古賀市議会政策推進会議は、粕屋北部消防本部の職員に講師をお願いし、地球温暖化と自然災害・熱中症について学びました。4月開催予定でしたが新型コロナウイルスの影響で延期。感染予防対策の観点からオンライン会議システムを使って実施しました。

講師は熱中症について、特に新型コロナウイルス対策と重なることから、条件によってはマスクを外して休憩し、小まめに水分を取ることが重要と指摘しました。また、暑さ指数を公表し注意を喚起することが必要と説明しました。

自然災害では地球温暖化の影響で豪雨や台風巨大化による洪水、土砂災害の増加が予想されること、地震もいつ発生しても不思議ではないこと、自助・共助・公助の対策強化を図る必要があると強調しました。

政策推進会議はこの研修を踏まえ、地球温暖化防止に向けた提言等を検討します。また、新型コロナウイルス対策と熱中症・自然災害対策は急を要することから、緊急提言の検討も必要になってきました。



議員は第1委員会室や自宅で参加



講師は粕屋北部消防本部から発信

### 福岡女学院看護大学とのオンライン・ミーティング

6月29日、パートナーシップ協定に基づく、福岡女学院看護大学（以下、看護大学と記載）と議会とのミーティングが、オンラインで開催されました。

毎年、看護大学から先生と学生の代表が、「議員にインタビュー」という形式で、学生が議会のことや、地域との交流や保健師としての役割を学び深める、との目的をもって、議会を訪問されて開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防対策として、初めてオンラインでの開催となりました。

普段とは違った形での開催でしたが、看護大学の学生の皆さんは臆することなく、たくさん質問や学んだことを伝え、私たちは若い世代の方の意見を聞くことができ、共に学び合うことができました。



### 3人の議員が表彰されました

#### 糟屋地区議長協議会表彰

松島 岩太（20年表彰）

内場 恭子（20年表彰）

#### 全国市議会議長会表彰

松島 岩太（20年表彰）

森本 義征（15年表彰）



吉住 長敏

## 古賀市通し歴史年表を

### 答 通史の必要性認識

**議員** かねて職員が作成した「古賀町の年代史」（1965年）の存在はご承知か。

在はご承知か。

**市長** 今、新鮮な思いで見ている。

**教育長** 初めて拝見した。

**議員** 「古賀町誌」（1985年）末尾の古賀町歴史年表の原型になった。次の歴史年表は平成中心の「づるわしⅡ」で本格的な年表は随分先になるようだが。

「古賀町誌」（1985年）末尾の古賀町歴史年表の原型になった。次の歴史年表は平成中心の「づるわしⅡ」で本格的な年表は随分先になるようだが。

**市長** 市史編さん方針が変わったのは事実。本格的な市史は50周年。その間は市制30周年の「づるわしⅡ」の2段階手法は適切。

市史編さん方針が変わったのは事実。本格的な市史は50周年。その間は市制30周年の「づるわしⅡ」の2段階手法は適切。

**議員** 現状では62年間の空白が生じる。後で分かった事などが補筆訂正されない状態が続く。この際、頭を切り替えるべき。古賀市は事実経過のみの総合年表を早急につくるべきだ。

現状では62年間の空白が生じる。後で分かった事などが補筆訂正されない状態が続く。この際、頭を切り替えるべき。古賀市は事実経過のみの総合年表を早急につくるべきだ。

**市長** 船原古墳は別途補足版として「づるわしⅡ」を積み重ねて市史の一覧年表につなげたい。

船原古墳は別途補足版として「づるわしⅡ」を積み重ねて市史の一覧年表につなげたい。

### 市史編さん方針



**議員** 考察が必要な文献的なものと切り離し、気合を入れれば職員で充分に年表はできるはずだ。

**文化課長** 公表する視点が抜けていたかも。これから検討する。

**議員** 3年間近く市史編さん準備係があった。市史の土台でもあり職員でやるべき。「づるわしⅡ」に先送りすべきでない。

**市長** 趣旨はわかった。通史として示す必要性を認識した。

**議員** 早い時期の実行を望む。別件で非常事態全記録を。

**市長** 歴史的に重要な政策事項でその記録の作成が極めて重要。



奴間 健司 (友和)

## コロナ経験活かし総合計画策定方針見直しを

### 答 策定スケジュール効率化で予定通り策定

**議員** 私はSDGsの目標年であり第5次総合計画の期間中である2030年まで頑張る覚悟。10年後の古賀市を共に創り、見届けることを市長に誘いたい。

私はSDGsの目標年であり第5次総合計画の期間中である2030年まで頑張る覚悟。10年後の古賀市を共に創り、見届けることを市長に誘いたい。

**市長** 10年後のまちの形を意識することは最も大事。議員と共有できるものは当然ある。

**議員** コロナ経験で価値観が大きく変わり新たな社会・経済・環境システムを考える契機になった。その変化を市政運営や長期計画につなげることは極めて重要。

**市長** 総合計画策定の進み具合は。事業者と3月末に契約したが4月以降コロナの影響で策定作業はスタートできていない。

**議員** 策定スケジュールや対話の再開はいつまでに見直すのか。従来型対話は見直しが必要では。

**市長** 策定本部で検討中。令和4年度スタートできるよう策定。対話は工夫を凝らし実施していく。

私はSDGsの目標年であり第5次総合計画の期間中である2030年まで頑張る覚悟。10年後の古賀市を共に創り、見届けることを市長に誘いたい。

私はSDGsの目標年であり第5次総合計画の期間中である2030年まで頑張る覚悟。10年後の古賀市を共に創り、見届けることを市長に誘いたい。

**議員** コロナによる課題を洗い出し、バックキャストイングで2030年をめざすべき。地域福祉や気候危機対策は大きな柱になる。

コロナによる課題を洗い出し、バックキャストイングで2030年をめざすべき。地域福祉や気候危機対策は大きな柱になる。

**市長** 大都市から地方に求める傾向など価値変容を踏まえ基本構想を確立することは大切。一方、揺らぐことのないまちづくりの根幹を意識することが最も重要。

**議員** 社会・経済・環境に与えた課題の洗い出しが不十分。3カ月の遅れを新たなチャンスと捉え腰を据えて議論してほしい。

**市長** 念頭に置きながら策定を進めたい。

念頭に置きながら策定を進めたい。

### コロナの経験を反映した総合計画策定へ

**第5次総合計画策定**  
**コロナでストップ**  
**発想の転換と新手法を**

① コロナ後初の総合計画  
 ⇒ **全国のモデルケースに**

② 価値観の大きな変化  
 ⇒ **市民意識の再把握を**

③ 新手法の積極活用  
 ⇒ **オンラインミーティング**

**2030年の古賀市を創る**

# 政務活動費を活かし 調査、研修 市政へつなぐ！

松島 岩太 自由クラブ

渡 孝二 自由クラブ

福崎 トビオ 自由クラブ

中野 敦史 自由クラブ

内平 晃二 自由クラブ

会派「自由クラブ」は古賀市における現状の課題解決のため、国の施策や方針について4つの中央省庁に出向き、次の研修を行いました。

11月14日～15日

### ① 地方における第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

策定のポイント 内閣官房

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するための説明を受けました。

古賀市は事業所が多いという特性からも、強化される「企業版ふるさと納税」や「地方への本社機能移転の強化策」などの活用が望まれます。

### ② 令和元年度補正予算の農業

支援の概要 農林水産省

TPP11による国内米生産に与える影響などさまざまな施

策について説明を受けました。

特に有用と思われる「農業次世代人材投資資金」「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」および「産地パワーアップ事業」などの農業の競争力向上のための支援策を利用することで、古賀市の大切な産業である農業経営をより挑戦的に行うために役立たせなければなりません。

### ③ 「ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金」

中小企業庁

この施策の対象事業者は中小企業・小規模事業者等であり、古賀市が力を入れている事業所誘致、雇用の創出のために活用すべき制度です。

古賀市は多様な中小事業者が活躍しており、異分野での連携やバックオフィスなどの活用は、経営の効率化にとどまらず、新たな市場を開拓する可能性があります。

### ④ ウォーカーカプル推進都市

国土交通省

昨年古賀市はウォーカーカプル

推進都市となり、駅周辺の再開発において本制度を活用する予定です。

この制度を活用し、自分たちで取り組むことの楽しさを多くの市民に共有してもらえらるようなエリアプラットフォームの設立が望まれることから、今後の在り方について、国の職員との意見交換を行いました。

### 結城 弘明 無会派

地方議員研修会

大阪市 11月6日

### 「議員が知るべき財政」

財政は市民の代理人として、最も重要な課題であり仕事の肝である。これら財政は一般職員でなく財務担当者との情報共有が大切である。なぜなら事業の立案から予算化までのプロセスを知り尽くしているからである。講義の過程で地方交付税、地方債、債務負担行為等が駆使され、再探求を痛感した。



- ・古賀市の政務活動費は、月1万円(年額12万円)が交付されます。
- ・残金は返還し、不足分は個人負担となります。
- ・領収書(1円から)を添付した報告書を毎年提出します。
- ・詳細は古賀市議会ホームページにて閲覧できます。

※スペースの関係上、提出報告書の一部を掲載しています。また構成上、掲載順も不同です。

森本 義征

友和

清原 哲史

友和

奴間 健司

友和

地方議会改革フォーラム

平戸市 6月29日

民意を代表するのは議会です。その機能を発揮するために対話による合意形成を図れる議会改革を学びました。対話型自治体経営シミュレーションゲームも体験しました。

公共交通シンポジウム

熊本市 8月9日

地域公共交通総合研究所(小嶋光信代表理事)は持続可能な公共交通のために国の制度改革、新たな交通財源、国民運動が必要と提起。古賀市の公共交通網形成計画に生かすために研修しました。

対話会

みらい創りSDGs

杵岐市 2月24日  
SDGs 未来都市



高校生による杵岐市のSDGs対話会

として杵岐市は対話によるまちづくりを重視しています。見学した「杵岐なみらい創りプロジェクト」では高校生が杵岐市の強みを生かし、SDGsの17目標に関連付けてアイデアを発表していました。第5次総合計画策定に生かしたい研修内容でした。※会派では以上の研修成果を共有し議会での提言に生かしました。他に資料購入、報告書作成などに活用しました。

古賀 誠視

市民クラブ

紙谷 由香

市民クラブ

村松 謙二

市民クラブ

地方議員研究会

福岡市 7月24日

「一般質問への取り組み方」と財政関連質問のポイント」を受講。少子高齢化時代の財政の課題などを学びました。

福岡市 8月1日〜2日

「決算カードから読み取れる!あなたのまちの本当の財政状況を知る」を受講。予算や決算審査を行うために必要な自治体財政の仕組みと内容を理解し、今後、本市の健全な財政運営の監視に努めます。

熊本市 8月7日

あなたのまちの自治体財政「見える化」を受講。北海道夕張市の事例を上げながら、議会としてのチェック機能の充実が求められることや決算カード、財政状況資料集から中長期的な財政計画について学ぶ。今後、市民のための財政運営として生かしていきます。

活動報告書を作成・配布

定例会後に活動報告書を作成し、議会の重要な案件や行政の課題、政策提言、市民の関心が高いニュースをパンフレットにして、各戸へ配布を行いました。

吉住 長敏

無会派

佐賀鉄工の油冠水視察

武雄市・大町町 8月30日

翌9月1日に予定されていた武雄市総合防災訓練が現実になった現地を単独視察。1級河川の六角川を背にした佐賀県大町町の佐賀鉄工工場の油が、水の行き場を失った内水氾濫の現象により、農地や住宅に浸水。そのオイル除去用大量シート等を用いた緊急除去作業に当たる会社従業員や消防隊などの様子を視察。また、武雄市内の復旧作業の様子も視察しました。

田中英輔 山海会

2019年度は議会ごとに議案の内容、問題、審議経過、政策提言、市内のニュースなどをわかりやすく、市民目線でまとめ、議会報告を発行、市民の皆さんへお届けしました。  
 この他、議会活動に必要な知識、社会動向、課題を知るための資料の購入。議会報告や事務処理に必要な事務用品を購入しました。

伊東洋子 山海会

介護の日フォーラム「介護保険実施20年ますます使えないサービスに？」  
 東京都世田谷区 11月11日  
 来年は、3年に1度の介護保険制度改正の年。要介護1・2をサービスから外すなど改悪ともとれる案が示されたことから、利用者・事業者への影響について研修。他に川崎ゆめパーク・練馬区こどもの森など子ども遊び場を視察。

井之上豊 公明党

全国地方議会サミット  
 東京都江東区 8月1日～2日  
 全国の地方議会の先進事例を学ぶために参加。  
 市町村議会議員研修  
 「2日間コース」災害と議員の役割  
 大津市 1月9日～10日  
 災害時の議員が取るべき対応を学ぶために参加。また、熊本地震の体験を地元議員より聞きました。

平木尚子 公明党

LGBTs/SOGIE相談員 スキルアップ集中講座  
 福岡市 8月24日～25日  
 LGBTs当事者の方、そのご家族などが安心して古賀市に住んでいたいただけるようにサポートをしていくため、LGBTsについて学び、相談対応の質の確保と向上をめざします。  
 持続可能な社会とSDGs  
 福岡市 11月29日

内場恭子 無会派

自然エネルギー利用を学ぶ  
 長崎市 10月29日  
 森林・林業・林産業活性化大会に参加。林産業活性化と振興を図る研修を受講。東京大学名誉教授太田猛彦氏の講演「持続可能な社会と今後の森林管理 SDGsと森林・林業」は、経済と社会・環境の3課題を総合的に解決する必要性を訴えられ、自然エネルギー活用を再認識しました。

竹下司津男 無会派

第81回全国都市問題会議  
 霧島市 11月7日～8日  
 霧島市国分体育館において、「防災とコミュニティ」をテーマに約1800人の行政関係者が参加して開催されました。昨今頻発する甚大な豪雨災害などに対しての各地区の対策について学ぶ貴重な機会となりました。



政務活動費の使い道

調査研究費	視察にかかる交通費、宿泊費等	広聴費	会場費、印刷費、茶菓子代等
研修費	研修会を開催するための費用 (参加費、講師謝金、会場費等)	資料作成費	印刷製本費、リース代等
		資料購入費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広報費	広報紙・報告書印刷・通信費等	事務費	通信運搬費、消耗文具費等

# 総務

## 委員会

4月28日

委員長 内平 晃二  
清原 哲史 吉住 長敏  
副委員長 井之上 豊  
村松 謙一 田中 英輔

### 地域防災計画

**問** 地域防災計画の提示はいつになるのか。

**答** 3月に書面会議を行い防災会議での意見を集約し、作成した修正案の概要版を今回報告した。今後は、パブリック・コメントを実施して最終改訂版を示す予定。

**問** コロナ禍での災害対策は。

**答** 避難所では3密が避けられないため、在宅避難、縁故避難、また、車中避難も検討の余地がある。避難所での間隔を取っての区割りが可能か、民間施設や地域公民館など多様な施設を避難所として活用する検討が必要。

総務課

### 古賀市の財政見通しは

**問** 新型コロナウイルス感染症により、経済活動が非常に厳しい状況である。

**答** 市民の中には失業者が出ることも想定され、今年度、来年度の税収も非常に厳しいものが見通されるが対策と見通しは。

**答** 今後行わない事業の事業費の活用や、国からの交付税措置も当然されるものと考えている。今後の税収の見込みは、はっきり立たないが、次年度以降も事業の必要性の見極めが必要と考える。

財政課

### 自治会加入の促進

**問** 自治会の加入促進は、行政区の運営にも反映されることから、あらゆるものを総動員するような方策は。

**答** 直近では広報こがにおいて転入者に焦点を絞った加入に関する周知啓発を行っている。また、自治会のアンケート調査では高齢化や担い手不足という課題も出ているが、新型コロナウイルス感染症の影響で意見などの聞き取りもできていない。今後は、二ーズを把握し必要な対策を講じたい。



まちづくり推進課

### 公共交通網形成計画

**問** 公共交通網形成計画のスケジュールと、再編実施計画は。

**答** 交通ネットワークの再構築については、現段階では令和2年度から3年度にかけて具体的に検討した上で、令和4年度から再編を進めていく予定。再編実施計画を策定している自治体は非常に少ない。再編実施計画を定めて、国の補助金などを受けて再編に臨むのか、あるいは再編実施計画という手続きを取らずに、何かしらの再編を行うっていくのかは検討する。



経営戦略課

# 文教厚生

## 委員会

4月16日  
24日

委員長 奴間 健司  
平木 尚子 福崎 トビオ  
副委員長 松島 岩太  
伊東 洋子 紙谷 由香

### 常任委員会報告

新型コロナウイルス感染症の感染防止として、所管の課からの資料報告をもとに委員のみで委員会を開催。質問に対して文書で回答がありました。

### 臨時休校中の対応

臨時休校に伴う特別学童保育所の開設、学童保育所の利用状況について等の報告。

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてLINE相談事業の開始前倒しはできないか。

**答** 相談員の研修や、利用者の周知などの準備が必要であり検討していない。

**問** 相談時間の拡大は。  
**答** 事業開始時の反応を分析しながら対応していく。



青少年育成課

### GIGAスクール構想

新型コロナウイルス感染症防止対策について、児童生徒1人1台パソコン端末配備を令和2年度から5年度までの4年間で整備予定を、令和2年度内に前倒しすることを検討。

**問** GIGAスクール構想の前倒しスケジュールは。

**答** 現在、小・中学校の各教室に無線LANなどのネットワーク整備工事実施にむけた準備を進めている。

ルーターの貸し出しについては、家庭のインターネット環境の状況調査を実施。実態を把握した上で対策を検討。

学校教育課

### 産前産後訪問新事業

**問** 新型コロナウイルス感染症に係る感染予防対策は。

**答** 電話対応を中心に実施。健康管理面での不安があり面接が必要な妊婦に対しては、風邪などの自覚症状の有無を確認し、訪問時には、マスク着用、手洗い、アルコール消毒等を行い感染予防に努めている。

**問** 自宅待機による虐待等については。

**答** 相談件数は24件で、虐待防止対策として支援が必要な家庭には再訪問。内訳は虐待以外の相談も含まれる。

子育て支援課

### 高齢者を取り巻く新型コロナウイルス感染症

**問** 介護認定審査会や新規認定者への対応について。

**答** これまで通り週に1度開催。更新申請で認定審査が困難な場合は、12カ月の範囲で延長可能。

**問** 独居高齢者の生活への影響は。

**答** 地域の通いの場の中止等で外出の機会が減り、運動機能低下が懸念されるので「今こそ家トレ」の全戸配布を実施した。



介護支援課

# 市民建産

## 委員会

5月13日  
15日

委員長	中野 敦史
古賀 誠視	渡 孝二
副委員長	森本 義征
内場 恭子	竹下 司津男

### 国民健康保険の

### 減免について

感染症に対する国保税条例の改正についての報告。

**問** 国民健康保険税は減免できるのか。

**答** 新型コロナウイルスに係る国民健康保険の減免については、国保税条例を整備してできるだけ負担を軽くするよう取り組みを行いたい。



市民国保課

### 特別定額給付金について

**問** 滞納処分による差し押さへの対象になるのか。

**答** 差し押さえを禁止する法律も制定されていることから差し押さえすることはできない。

収納管理課

### 水道料金の支払い猶予は

**問** 市民への周知は十分にできているか。

**答** 国土交通省より、生活困窮者に対しては猶予するようにとの通達が来ているが、平時より市民の相談に乗り猶予を実施している。

上下水道課

### 清掃工場への自己搬入

**問** 新型コロナウイルス感染症への自粛・警戒期間中、清掃工場へのゴミの自己搬入はできるのか。

**答** 通常通り行っているが、引越など緊急性がある場合を除き、持ち込みをなるべく控えるようお願いしている。



環境課

### 松くい虫防除事業の 地上散布

**問** 松くい虫防除事業に関して伐倒駆除の本数はどのくらいか。

**答** 平成31年度の伐倒駆除は胸高径9 cm以下が78本、10 cm以上が203本、20 cm以上が57本、30 cm以上が25本、40 cm以上が12本の計375本となっている。



農林振興課

# 市民活動がんばってます！

## 環境、福祉、健康、その他

(後編)

今年も活動が難しい日々が続きますが、古賀市には多くの市民活動団体が登録されており、前後編に分けて紹介しています。後編は「環境、福祉、健康、その他」について活動している団体です。

14	shining heart が
13	古賀レクの会
12	古賀要約筆記の会「うさぎ」
11	古賀ふるさと見分けの会
10	古賀手話の会
9	古賀市緑のまちづくりの会
8	古賀市ほたるの会
7	古賀市登山協会
6	古賀市「コココの会」
5	古賀市音訳ボランティア 「カナリヤ」
4	傾聴ボランティア「ひだまり」
3	ぐりんぐりん古賀 (古賀市環境市民会議)
2	九州・コーチング研究会
1	かたろう会(井戸端会議)

26	NPO法人 こが婚活サポートセンター
25	一般社団法人 こがみらい
24	特定非営利活動法人 あじさい園
23	古賀市食生活改善推進会
22	レインボーKOGA
21	認定NPO法人 エコけん
20	特定非営利活動法人 コスモキャンパス
19	NPO法人九州山口CO <sup>2</sup> カウンセラー協会
18	和太鼓 華音
17	よさこい古賀連
16	食品リサイクルグループ古賀
15	障がいがある子の学校生活を 考える親の会

第2回定例会の傍聴者は4人でした。  
ありがとうございました。  
第3回定例会は8月26日(水曜日)開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。  
ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



### 令和2年 古賀市議会 第3回定例会会期日程(案)

会期 8月26日～9月18日 24日間

日曜	会議名
28日 金	本会議(初日)
31日 月	本会議(2日目)
1日 火	常任委員会
2日 水	常任委員会
3日 木	補正予算審査 特別委員会
4日 金	一般質問
7日 月	一般質問
8日 火	一般質問
10日 木	決算審査 特別委員会①
11日 金	決算審査 特別委員会②
14日 月	決算審査 特別委員会③
15日 火	決算審査 特別委員会④
16日 水	決算審査 特別委員会⑤
18日 金	本会議(最終日)

開議時刻は全て9時30分～

注)会期日程は、8月21日(金)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。  
◎本会議ですべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。  
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。  
(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)  
◎請願書の締切りは8月19日(水)午後5時です。

### 表紙の言葉

感染拡大防止のためシークレットで行われた打ち上げ花火は、多くの笑顔につながりました。  
御尽力いただいた皆さまありがとうございます！

### 編集後記

経験したことのない世界的感染症の猛威の中でこの記事を書いています。今日は7月7日です。例年なら七夕ののかな1日だと思えます。  
数日前から続く九州豪雨により現在数十人の方が亡くなられています。古賀市でも深夜に「警戒レベル4」「避難勧告」が発令されました。  
災害はいつ襲いかかるかわかりません。人との絆、助け合いの大切さを痛感しています。(内平)

### 議会報編集常任委員会

- 委員長 福崎トビオ
- 委員 平木 尚子
- 委員 清原 哲史
- 委員 内平 晃二
- 委員 竹下 司津男
- 委員 紙谷 由香

